

平成29年度 山王保育所事業報告

1. 概要

①運営報告

- 西成区内は待機児童0人で益々高齢化地域になってきました。しかし、近隣地区の待機児童が解消されない中で、今年度も、天王寺区・阿倍野区・浪速区・住吉区など他区からの在園率が全園児の約40%になりました。
- 28年度末に正規保育士5名、非常勤保育士3名の退職があり、本年度の入職者は正規保育士3名、非常勤保育士1名、また、途中入園児対応で年度途中で派遣保育士3名、非常勤保育士1名の雇い入れを行いました。年度途中で派遣保育士1名、非常勤保育士2名の退職があり、職員の定着・確保の難しさを改めて感じました。
また、新入職者が多く保育にばらつきもあり、前半は「一日の保育の流れ」の徹底に努めました。OJTを行いながら職員間で話し合う機会を多く持ち修正していきました。後半になると同じ方向性を持って保育に向かうようになり落ち着いてきましたが、リーダーシップをとって人材育成ができる職員を育てることが急務と考えています。
- 保育所保育指針が30年度に改訂されるに当たり法人姉妹園と一緒に勉強会を行い、「全体的な計画」の作成を行いました。また、園に持ち帰り「新保育所保育指針」「全体的な計画」から発達過程の見直しを行いました。
- 門扉を暗証番号で開閉できるよう工事を行いました。24時間ロックをかけることができるようになりセキュリティ強化になりました。

②定員 70名（定数外27名） 合計97名（平成30年3月）

③事業日数 293日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7：30～18：30 土曜日7：30～18：30

⑤保育時間 標準時間保育 7：30～18：30 短時間保育 8：00～16：00

⑥職員数

園長 1名、保育士 21名（うち派遣会社保育士4名・パート保育士6名） 看護師 1名
栄養士1名 調理員 3名（うちパート調理員2名）
嘱託医（内科、歯科）各1名（内科年4回、歯科年1回 健診）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子供社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 保護者との信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する。
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす。

③保育目標

1. 心身ともに、健康な子
2. 友だちと助け合える子
3. 失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジできる子
4. 優しさ思いやりのある子

④クラスの編成及び職員配置

0歳児	さくらんぼ組	11名	保育士4名
1歳児	いちご組	18名	保育士3名
2歳児	もも組	18名	保育士4名（うち障がい児加配パート保育士1名）
3歳児	くり組	18名	保育士2名（うち障がい児加配保育士1名）
4歳児	みかん組	20名	保育士2名（うち障がい児加配保育士1名）
5歳児	かき組	12名	保育士1名

合計園児数 97名 保育士16名

H29年 4月 84名 5月 90名 6月 93名 7月 97名 8月 96名

9月 95名 11月 99名 2月 97名

H29年 4月 84名 → H29年 3月 97名

障がい児保育担当保育士 3名（うち有資格2名・パート保育士1名）

フリー保育士 2名

⑤保育内容

- 乳児クラスは給食時、0歳児は1対1食べ、1歳児は2対1食べ、2歳児は4対1食べを始めました。子ども一人ひとりの姿が捉えやすく、個々に合わせた援助ができようになり「一口分を良く噛んで食べる」を丁寧に伝えることができました。給食の時間が静かになり落ち着きました。

また、喫食方法を変えた事により個々の生活リズムを把握し、遊び時間やグリープをその都度考え、職員間で連携していくという良いシステムに繋がりました。

- 幼児クラスは「朝の意味ある運動」で身体をしっかりと動かし脳内ストレスを発散して一日が始まり、日課のある保育が定着しました。その中で、次の行動に移る時のけじめがうまくつけられず、「自分で考えて行動する」が出来ない子どもが多いことに苦慮しています。保育士の言葉の多さ、タイミング等アプローチの仕方に原因があると考えます。来年度の課題として取り組んでいきます。
- 食育ではクッキングを通して、4、5歳児は包丁やピーラーの使い方が上手になってきました。また、季節の食材に多く触れ『旬』を感じる事が出来ました。食事マナーと共に三色群で身体を丈夫にする栄養の話を行い、幼児クラスでは好き嫌いなく完食できるようになってきました。
- 今年度より専任の講師を招いて「絵画指導」を始めました。子ども達が描きたい、やってみたいと思う導入を行うことで、描き始めの戸惑いがなくなり自由にのびのびと表現する子どもが多くなりました。
- 和太鼓・英語・歌唱・サッカーの指導も定着し子ども達に上達がみられます。出来たことが自信に繋がって嬉しくて、家でその様子を話すよう保護者の方々も喜んでくださっています。このことを外部にも情報発信していき入園に繋がるようにしていきたいです。
- 本年度も全国人権擁護委員連合会のリーフレット「種をまこう」を題材に人権教育を行いました。前・後期に同じ題材を用いますが、同じ話でも半年後では子供の反応が違い、心の成長を感じることが出来ました。また、普段の生活の中で場面を捉え人権教育を行いました。保育者も、子どもの人権が守られているか留意し、家庭支援を行うと共に子供ひとり一人を大切に保育を行いました。

⑥家庭との連携

家庭訪問（4月）保育参加（5月）保育を楽しむ日（11月）、全体懇談会（5月）

クラス懇談会（5月・11月）個人懇談会（2月）・給食味見会（5月・11月）

- 「朝の意味ある運動」が9時から始まる事が定着し、9時までに登園する家庭が多くなりましたが、遅く登園する家庭が決まってきました。その家庭に対しての支援がこれからの課題と考えています。
- 「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」をお便りや懇談等で伝えてきましたが、大人の夜型生活の中で子どもも一緒に過ごしており、なかなか定着されず今に至っています。「継続は力なり」をスローガンに各家庭に合わせた発信を続けていきます。
- 配慮のいる子どもの保護者と話し合う中で西成区の保健師・心理士に繋がり発達相談に2件進めました。また、保育園から療育施設に通う園児が3名になりました。加配保育士が療育施設の訪問や、保護者と話し合う機会を持ち、保育園・家庭・療育施設の連携に努めました。

⑦人材育成

- 法人の理念・方針に沿った個々の職員の個別研修計画を立て、園内外の研修に参加しました。
- 各リーダーを策定しましたが、他力であったり・戸惑い・遠慮が多くリーダーとして自覚を持って進めることが難しかったです。一人一人が自分の役割を自覚して組織の中でどう動くかの理解が乏しいです。来年度に向け再度、それぞれの役割を説明しリーダー発信で職員が集結し目的に向かって動き出す仕組みづくりを行っていきます。
- 新職員が「白鳩会の保育」の理解につながるよう園長、クラスリーダーが OJT を行いながら「一日の保育のながれ」の徹底に努めました。素直に受け止め、毎日の積み重ねの中 3 か月程でぎこちなさがなくなりチームワークもとれるようになりました。また、職員皆で「一日の保育の流れ」を見直す良い機会になりました。
- 本年度はスマイルサポーターの資格を 1 名取得しました。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

- 毎月 4 回保育所体験（園庭、ホール開放）を行いました。

地域活動

- 天下茶屋保育所、天下茶屋幼稚園、若草保育園と幼保交流を行いました。（年 3 回）
- 図書ボランティアによる読み聞かせ会に参加しました。（年 2 回）
- 地域の老人会で和太鼓の披露を行いました。
- 西成警察と連携し年長児が警察官の制服を着て地域の方々に防犯を呼びかけました。
- 西成区クリーンキャンペーンに参加しました。

小学校との接続

- 金塚祭り（金塚小学校主催）に招待いただき、小学生との交流体験ができました。
- 金塚小学校の先生と「小学校に向けて何が必要か？小学校で困っている事」について具体的に話し合いアプローチプログラムについて考える機会を持ちました。
- 就学に向け金塚小学校、天下茶屋小学校を見学に行きました

⑨苦情処理

- 第三者委員会の設置について、園のガイドブックや掲示または、入園説明会、全体懇談会にて保護者に周知しました。また、意見箱の設置やアンケート年 3 回実施しました。
転園や卒園のご意見やご相談についても園長が相談の窓口として受け付けています。
本年度の保護者からの苦情、意見箱への投書は 0 件でしたが、近所の方から騒音の苦情がありました。保護者一人ひとりに苦情内容を伝え門の開閉の音や声の大きさに留意いただくよう伝えました。また、保育中窓を閉めて歌声やピアノの音が外にでないよう気を付けました。声のトーンについて考える良い機会になりました。無記名でポストに入っていた為、対処しかできませんでしたがそれ以後の苦情はありませんでした。

⑩リスクマネジメント

- 災害時の避難場所や連絡方法や対応については個人懇談会で保護者一人ひとりに伝え、災害時の緊急連絡票に前年度から変更がないか見直しを一緒に行い、変更があった場合は速やかに保育園に届けるようお願いしました。
- 保健指導・健康管理計画に基づきナースが中心となり毎月職員会議の場でリスク予防の研修を行いました。
- 年間計画を立て、地震、火災、津波の災害訓練を行いました。
- 食物アレルギーマニュアルの見直しを行い、給食・おやつ提供の仕方を職員皆で確認しました。また、土曜日の給食献立からアレルギー食材をなくすことを検討し進めました。
- S I D S、溺水の救命や救急車要請等職員間で役割を決め訓練を行いました。
- 防犯訓練（不審者侵入）（6月西成警察署）総合災害訓練（火災・消火・地震）（6月・西成消防署） 防災センター（火災、地震体験11月）の体験学習

⑪その他

- トイレの便座を温便座に変える工事を行いました。
- 門扉の開閉を暗証番号で行う工事を行いました。
- 玄関横の階段にスロープを付ける工事を行いました。
- 2F廊下に空調機と扇風機を取り付けました。